



## 臨床データサイエンス学環を開設します



北海道医療大学 学長 三国 久美

本学では、2026年4月に「臨床データサイエンス学環」を開設します。

「学環(がっかん)」とは、複数の学部が連携して分野横断的な教育を行う学位プログラムで、従来の学部の枠を越えた新しい学びの形です。学環の設置は全国的にもまだ少なく、北海道では本学が初めてとなります。臨床データサイエンス学環の修業年限は4年で、定員は15名とし、少人数教育により、一人ひとりに寄り添った丁寧な教育の提供をめざします。

臨床データサイエンス学環では、医療・福祉とデータサイエンスをつなぐ人材の育成をめざします。そのために、生成AIなどの先端技術を含むデータサイエンスの知識や技能に加え、人の心と体のしくみを基礎から学びます。また、患者さん一人ひとりの価値観を尊重し、最善の医療を提供するための倫理観を養う医療倫理教育にも力を入れています。さらに、医療や福祉の専門職の視点を理解し、実践的なコミュニケーション力を身につけるため、他学部の学生とともに多職種連携について学ぶ科目を複数配置しています。

3年次には、医療機関や社会福祉施設など、治療やケアが行われている現場でインターンシップを行います。こうした臨床現場での体験を通して、医療や福祉分野で生じている課題を理解し、その解決やDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進に向けて、データサイエンスを活用できる力を養います。

本学では、全国の医療系大学に先駆けてデータサイエンス教育を導入してきました。2021年度には、文部科学省による認定制度「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム(MDASH)」のリテラシーレベルに認定され、認定を受けた教育プログラムの中から、特に優れたプログラムとして、リテラシーレベルプラスにも選定されています。さらに、2024年度には北海道内の私立大学では初めてMDASHの応用基礎レベル、応用基礎レベルプラスの認定校・選定校となりました。このように、人工知能を含む先進的なデータサイエンス教育の蓄積がある本学だからこそ、医療とデータサイエンスの両分野に精通した人材の育成が可能です。

AIが急速に普及する現代において、既存の学部の学生にとっても、学環の学生とともに学ぶことは大きな刺激となり、学びの幅を広げる良い効果が期待されます。

現在、データサイエンティストは全国的に不足しています。特に医療・福祉分野では、他の産業に比べてDXの導入が遅れている一方で、深刻な人材不足への対応としてDX推進への期待が高まっています。少子高齢化が全国平均以上に進む北海道においては、医療・福祉分野のDXを担う人材の育成が、今後ますます重要になります。

臨床データサイエンス学環で学んだ卒業生が、医療・福祉の変革者として活躍することを楽しみにしています。

## CONTENTS

臨床データサイエンス学環を開設します	1
歯学部附属歯科衛生士専門学校	2
新校長就任のお知らせ	
国際交流について	
授業REPORT	3
『医療データサイエンス入門I・II』	
自治体との連携について	4
地域貢献活動・職業体験イベント	5
STUDENTS' ACTIVITIES & EVENTS	6
ポラリス基金のご案内	7
定年を迎える先生からのメッセージ	8
2025年度 理事長表彰について	9
同窓会活動状況	10
TOPICS	12
EDITOR'S NOTE	